





< C

支部定期総会報告

田原山登山口から

十文字原

1

2

3

4

5

5

6

7

8

若杉山、鬼岩谷山、砥石山

山登りに新学説? 4

メンソーレ石垣

玖珠・九重の山々

支部事務局担当者会議

祖母~傾縦走 (その2)

私の無名山ガイドブック②

人の少ない北アルプスを

歩きたければ

お知らせ

9

後記

9

年次晩餐会などの本部関係の各種会議、行事に○年度事業計画では「新日本山岳誌」の編纂や総会で決められた主な議題としては、二○○ な寄稿を呼びかけている

的回 ま

記念誌の発行など山(改訂版)」や

あり、このための記まりできませんで探り、このための記まりですることをはじめ、四〇周年記念誌の発行、『大分百山』の改訂版発行など各種の取り組みが控えており、会員一丸となって協力し合い、これらの取り組みを成功させて欲しい。」と挨拶があった。続いて議長を選出して議事に入り、はじめに一九九九年度の事業報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、一括して承報告、決算報告、監査報告があり、このための記まして、出て議事により、このとは、アトラクションとして、出るビデオ「はるかヒマラヤ」の鑑賞、星子会員信でする。 による「チョー 年となる。支部創立四〇周年と る二○○○年度は当支部に に委任状四六名)のもとで開催された。 総会ではまず (土) 午後六時から大分市のコ |○○○年度の支部定期総会が去る四 室で、会員・会友合計三一名の出 オー 梅木支部長が 午後九時前に散会した。 遠征のスライドを交え 年という記念の年 「ミレニア ホー 月十 席 で 別ル五 できあ

定 期 総 会開催報告

ない一大イベントとなるわけで 年に一回しか巡ってくることの 員会および総会で承認されたも ので、当支部においては二十四 開催したいと申し出て、本部役 創立四〇周年を記念して大分で で、全国各地の会員が一堂に会 る日本山岳会の主要な年間行事 のである。この一大行事を支部 本会最大の山行行事といえるも の支部が持ち回りで毎年開催す し、揃って同じ山に登るという、 全国支部懇談会は国内二十四

員総出の協力体制が求められて 当日も各種の任務があるので会 集中的に行う予定であり、また 日前からは最後の準備作業等を なお、全国支部懇談会開催の三 に出席するよう呼びかけている。 の日に対応可能な会員は積極的 り組むことにしているので、そ 打ち合わせをし、手分けして取 とともに、今後の準備について それまでの準備状況を点検する 時にコンパルホールに集合して 曜日を定例準備会とし、午後七 められている。当面毎月第二火 なっており、役員のみならず、 けて各種の準備作業が山積みと 会員全員にも積極的な協力を求 このため、これから開催に向

は次の通り 全国支部懇談会の概要

二〇〇〇年九月一六日(土)

> 懇談会場「つるみ荘」 ところ 別府市田の湯町一三ー一三

日程 行先 「久住山・中岳」

古金 講演会(三:00~四:三0) 受付(11:00~11:00)

「カラコルムの山旅」

斉藤悖生氏 (智本協食)

懇親会(一小:00~ 懇談会(四:三0~17:00) (各支部の活動報告など)

牧ノ戸峠発(主:00) つるみ荘発(至:00) 貸し切り (A班) 中岳経由久住山へ バスにて牧ノ戸峠まで

(B班) 直接久住山へ (健脚組)

赤川着(三:00)全員 貸し切りバスにて大分へ

四. 参加費 一九、八〇〇円(予定) 宿泊代、懇親会費、弁当 代、貸し切りバス代、記念 大分駅解散(三:00)

品代、その他

四 十周 年記念登山 日は会員全 貝集合を 五山

支部創立四十周年を記念する

繰り合わせの上ご参集を。 全員揃って涌蓋山に登ることと たいところであるが、全国支部 なった。会員はあらかじめ万障 の月例山行に合わせ、この日、 することとなった。日程は六月 て記念のワンデイハイクを実施 にできるだけ多くの会員が集っ が重なるため、今回は身近な山 懇談会招致等各種の行事、事業 遣するというような計画を立て 遠征登山を企画し、遠征隊を派 登山として、本来なら何らかの

としての何らかの記念を残し、 念登山』として位置づけ、自分 この一年間に行う山行のうちの 表し合うこととなっった。 二〇〇一年度の総会で互いに発 山」として、それぞれの会員が 一回を、自ら『支部四〇周年記 また、「私の四十周年記念登

れた主なこと

1 誌の発行 支部創立四〇周年記念

俳句、短歌、写真、絵 その他登山活動報告。随筆、紀行、詩、 8月末を予定。 締め切り五月末日まで。発行は の投稿。会員の積極的な寄稿を の寄稿を呼びかけている。海外 一会員一投稿を基本に全会員

「大分百山 (改訂版)の

在各会員で手分けして最新のル 全国支部懇談会までに発行する。 いるが、早急に原稿をまとめ、 ート照査および執筆にあたって 百山 の選定見直しを行い、

現

別府湾リレー登山ルー

るため、再度会員で手分けして 会ルート」として一般に紹介す それらのルートを確定して発表 レー登山ルートを、「日本山岳 ルートの照査および工作を行い、 十一年度に踏査した別府湾リ

健会員の後任として安藤幹会員 昨年死去した会計監査の故松尾 が選出された。 本年は役員改選期ではないが 会計監査は安藤会員

田原山登山口 から十文字

二月月例山行報告

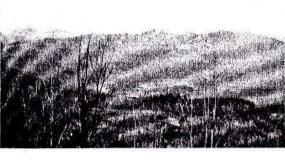
藤 秀二

とだったが、店の前に西さんが ぽつりと立っているだけだった。 時にサニーに集合。と、いうこ 五時を過ぎても誰も来ず、2人 平成十二年二月十九日午前五

山へ向かった。 ることが確認出来たので、ここ 出ていた位置より下だったので 道はだんだん狭くなり、ついに ら攻めようと、車で一度麓の部 見あたらない。それでは、下か が、まだ暗いことも手伝って、 ようということになった。田原 で出発。今回 の探索を終了し、一番近い甲尾 を探したが、道がなくなってい 再びもとの点線の出ている付近 夜も明けて、明るくなっていた。 本当に行き止まり。この頃には 今度は上へ向かって道を探すが との道に出た。地図上で点線が メートルほどで、工事現場に出 を置いて道を探すと、ほんの百 は、行き止まりの立て札が。車 落に降りて、再び上へと向かう。 しいところで、車を降りて探す る点線のルートを探す。それら ゆっくり下りながら、地図にあ か地図を見ながら、車で道路を 十号線まで、どのルートを取る 山登山口まで行って、まずは、 いうことで、ルートの策定を のルートが、決まっていないと から、前回の鹿鳴越(東)まで て、さらに百メートル程で、も 原山

撮り、鹿鳴越(東)の峠へ向か う。甲尾山を降り十号線を横切 前七時三十分到着)記念写真を 路との間に三角点がある。 で行ける。風車小屋の南側、 駅北側、十号線からは頂上に風 車が見える小山だ。頂上まで車 甲尾(こうのお)山は、山

越えへほぼまっすぐに道が延び って南下する。 (工場?) に着く。 (東) の峠の近くの堆肥置き場 およそ三十分で鹿鳴越 山香町から鹿鳴



鹿鳴越えの峠と思われる十字路 がら横道を歩く。十分足らずで、 の峠へ。山道に入ったすぐ右手 場に車を置いて、鹿鳴越(東) この日は、この辺り一帯、前日 ここをまっすぐに、やや下りな る。前回降りてきた道である。 の積雪となっていた。堆肥置き の降雪で五センチから十センチ をかけているだけだった。また、 止」の紐がしているが、フック のところに「関係者以外立入禁 (鹿鳴越の峠手前より田原山 ここの手前三百メートルほど 七つ石山からの縦走路があ

る。下りは二十五分であった。 びをあげて、記念撮影の後、下 頂上で、万歳とヤッホーの雄叫 十五分。 (午前九時十分到着) 登りは車を置いたところから三 従って登ればすんなりと着く。 頂上へは、植林の中をテープに の指標があったので、左側の木 左側にあり、反対側に前後方向 路の指標の約三十メートル手前 解ったのだが、入り口は、十字 り、山頂へと続いていた。後で ると、植林にテープが巻いてあ ッシュになっている。目指す次 向にしか道はなく、左右は、ブ こが十字路だと思うが、前後方 のテープに気がつかなかった。 すぐ先の植林の中に入った。す で、左のブッシュをかき分けて の三角点、百合野山は左手なの ここからは、前回と重なるが、

る。道路からの標高差約三十メ 目指す名のない三角点の山があ 経塚山を過ぎた右カーブ左手に 道に出たときは、ほっとした。 だったが、何とか走破。広域農 が止まるのではないかと、不安 でこぼこもあったりで、途中車 車が轍の上を勝手に進む。結構 雪で、十五センチ程度の積雪。 る。林道は未舗装の上、前日の 戻りし、唐木山北側の林道に入 した。さっき通ってきた道を逆 八、七メートルの三角点を目指 塚山先の道路脇にある五百二十 片っ端から登ろうと、まず、経 に行こう」となり、地図を見て 「帰る途中の行ってない三角点

> この日一番の眺望。ここは意外 うに、うれしくなった。(午前 速見インター方面へ右折。左へ 速見インターに向から三叉路を な穴場かも。記念撮影の後、車 と見渡せる。四国三崎も見えて、 賀関から大分別府杵築とぐるり 絶景かな。別府湾全景が見え佐 よっと海側へ行くと、絶景かな 見え、明るい。どうしてもそこ 路を阻む。 大きくカーブした後の右カーブ に戻り、次は、尼蔵岳。日出と 十時四十分到着)三角点からち して、行ってみると、やはりあ に行ってみたいと、少し迂回を ったが、雑草の下の方から先が 雑草の山。トゲのある枝が、進 され歩きやすいが、頂上付近は 宝探しをしているかのよ 頂上付近以外は、植林 あきらめようかと思 な杭があったが、山名が正しい ばに「長迫山」と書かれた小さ 思ったら少し先の右手に下った かどうかは不明。 いところにあった。三角点のそ ところ、高速道路にいちばん近 があったので、そこにあるかと テープが二つ着いているところ 分で最高点へ着いた。最高点に よじ登り、テープに従い二、三 も来たんだなあと土手の金網を プが巻いてある。こんなとこに た。土手の上を見ると赤いテー の左側に細い道があり車を止め る。高速道に近づいた右カーブ いたところの左手土手の上にあ ンを過ぎ、旧道に出て、いった 府道路沿いに日出ジャンクショ の間にあるではないか。字佐別 ん高速から離れた後、再度近づ

った。

あった。日出ジャンクションの いかと凝らして見ると、あった は約十五分。車に戻って地図を 前中で四つの三角点を通過。 頂上も植林の中で、視界はゼロ 根があるが、上を目指せばどこ 入り口には、車二台程度止めら 歳と記念撮影の後、下る。下り ートル。約二十分で頂上に着く。 からでも行ける。標高差六十メ 入り口から、前が谷、左右に尾 に入り、とにかく上を目指す。 れるスペースある。ここから山 途中に左に旧道らしき道があり、 (午前十一時四十五分到着) 午 通り道近辺に三角点はな 万 地図がないとどうしようもない ないか探したが、見つからず、 ここで記念撮影をし、さらに、 テレビ塔の近辺を探し、テレビ のでこの日の行程を終了した。 山側にある小高い丘に三角点が 塔海側に、定点があったので、 えず十文字原に行って探そうと、 角点の位置が解らない。とりあ (午後二時) 今回は、たったの二人でちょ ここから先は地図が切れて三

じ取れました。将来にわたって 行かれたみなさんのご苦労が感 もテープがあり、ルート開拓に れにしても、いずれの三角点に 点に行けたので楽しかった。そ っと寂しかったが、多くの三角

少し別府より、

高速道と旧道と

皆さんで歩きましょう。 別府湾ルートが消えないよう、

L 公白 岩雷) 旦 鬼岩 石山

四月月例山行報告

児 玉 良

場まで。八:二○到着。用意を ことで、 院」六八一四着。 行して登っているコンクリート して八:三五出発。登山道は こと。篠栗町を目指してGO! 着。料金は一三、〇〇〇円との ると六:三〇西、高橋の二名到 先生と玖珠インターで待ってい だった。六:〇〇に同僚の衛藤 ら緊急電話があり、「大分から していたら五:〇〇に西さんか 道路を行く。八:四○「奥の に従って若杉山「奥の院」駐車 で玖珠まで行く。」ということ 車がないので、今からタクシー 「お遍路さん」が多いので、平 「JR篠栗駅」を横切り案内板 朝五:〇〇サニー出発という 四:〇〇に起き、準備

逆の東ピークに電波塔が数基建 三角点(六五五・七m)がある その先の尾根を少し下ると四等 西の「太祖神社」にお参りし

さらに東へ下る。六二一、四m こで少し休憩をとり、九:二〇 会」「臼杵市山岳会」の山頂標 っているが、ここに「二豊山 の三角点は見あたらなかった。 識札がある。三角点はない。こ



レーザー塔あり」が目の前に見 二分進むと「三郡山(航空監視 が展望も三角点もない。さらに ここは小さな広場になっている 〇m)」到着。しかしここは :五五「一等三角点(七七四: 会い、西さんと話が弾んでいた。 着。本会会員福岡支部の人と出 「砥石山」に向けて出発。一〇 「砥石山(八二八m)」到着。 「鬼岩谷山」と書いていた。 さらに私は進み、一一:〇七 一〇:〇五「ショウケ越」到 (若杉山から砥石山を望む)

見つからなかった。 二一、四mの三角点を探したが 下りで道を譲るために、再び六 先生と車を取りに戻る。トライ アスロンの大会があっており、 食を食べ、「若杉山」へ衛藤 一一:二五「一等三角点」で

い。四人だったが、楽しい山行 ぞれ車を停めておくと便利がよ 杉山」と「ショウケ越」にそれ った。この山に登るときは「若 パやら持っていたが天気は良か 予報は雨だったので傘やらカッ 七:〇〇ごろ大分着。週間天気 いたときは二人の姿はなかった。 がかかり、「ショウケ越」に着 く。花見の車で思ったより時間 ケ越」に残した二人を迎えに行 行って景色を楽しみ、「ショウ 神様が祀られている。)」まで 二分の山頂には四等三角点と荒 滑走場がある。ここから歩いて 場より一分、パラグライダーの 帰着。お土産を買って、「米の その後、色々あり、結局「基 インター」から高速に乗り、 (五九三、七m、奥の院駐車 一三:一二「奥の院」駐車場

先日、見るともなしにテレビ 井参二

るほど、九割近くの人が左足で 検証のVTRを見ていると、な る。」というものである。その きはほとんどの人が左足で降り は、「エスカレータで降りると に裏付けるという番組である。 それを科学的に、また、医学的 生活で発見したことを取り上げ、 を 私が注目したテーマというの 一組というのは、視聴者が日常 マの番組が流れていた。その 眺めていると、興味を引くテ

ことは、左利き、右利き、人種 からうろこである。 もしれないが、私にとっては目 をいまさらというむきもあるか 人類共通ということである。何 の違い、性別の違いは関係なく、 りになっているという。という ういう理由で、陸上競技は左回 足になっているのだそうだ。そ 左足が方向指示足、右足が蹴り はなく、人間の体は生理学的に、 解明するとそんな簡単なもので しかし、生理学的にそのことを 足の問題だろうと推測をした。 降りている。 私はそれを見て、単なる利き

線を左に下る場合に滑落が多い があれば調べてみたいところで あるが、それはデータがそろっ るとき、右足が谷足、つまり稜 はやや飛躍するが、急斜面を下 ろうかと発想を変えてみた。話 山登りにもいえるのではないだ 終わるのであるが、私はふと、 のではなかろうかと。事故事例 とまあ、普通なら話はここで

> 出しやすい右足谷足のほうがよ 合は逆に、重心を保持し、踏み ほうがよいのである。登りの場 に左足が踏み出せる左足谷足の ランスを崩したときに、とっさ 傾斜の強い雪稜を下る際は、バ たときにするとして、私自身、

りません。 かにできないのはいうまでもあ 無論、左足谷足の下りもおろそ 足の下りには十分にご注意を。 持される方、くれぐれも右足谷 は持てませんが、私の自論を支



重 廣恒夫氏「ふるさと 名山探訪」同行記

1

あずさ

イ、自分だけ!」この一言で私 ン高い声が耳に入る。「ズルー る母の「石垣に行くーう」とカ は行縢山。重廣氏と歓談してい 荘の酒宴に始まる。重廣氏の 「ふるさと名山探訪・宮崎編」 お話は去年の十二月の鹿川山

を探していたら、そこに重廣さ さんに連絡をしなければと電話 嫌な気分で再び杯を重ねた。 も同行できることになり、ご機 ナウンスがあり、なんとか重廣 那覇空港で飛行機が遅れるア

はなはだ眉唾な自説で、責任

さんも同行した。 てタクシーで於茂登岳の登山口 ていた奈良千佐子さんと合流し ていた。東京から一足先に着い 帯の華やかな空気に満ちあふれ やハイビスカスが咲き乱れ亜熱 空とは対照的にブーゲンビリア 会。安藤セツさんと清水りつえ になりました」一カ月ぶりの再 んがいた。低音の渋ーい声で 「こんにちは。行縢ではお世話 石垣空港は、どんよりとした

於茂登岳(五二六m)が沖縄県 なんともお勉強不足だったが、 のいい山ではなさそうだった。 ともとススダケに覆われて展望 あいにくのお天気だったが、も ダケに覆われたところにある。 角点は工事現場の左の奥にスス に頂上の木の看板があるが、三 電波塔の工事現場が左で、そこ 音がすると道は二つに別れる。 上付近に来ると発電機のような 整備され迷うことはないが、 は二十度に近い。登山道は良く というのに春の香がする。気温 ミンに似た花が舞い散り、一月 にした。登山道には椿やジャス を思わせ、日本の山とは趣を異 最高峰というのを木の看板で 大きなジダの葉がジャングル た。沖縄の民族衣装の紅型の着 を見るのが目的だったが、どう ントラストはみごとだ。この海 海はおだやかで白い砂浜とのコ かわらずエメラルドグリーンの 礁の美しい川平湾。曇天にもか が・・・・そして目的の、珊瑚 たときには皆さんの手に一升瓶 だき、石垣の夜は更けていった。 盛でしょう。幻の銘酒「泡波」 次々に頼んだ。ビールの次は泡 魚に驚きながら、珍しいものを 居酒屋に行き、ネタの中の熱帯 ルはオリオンビール!二次会は みんなでつついた。当然、ビー で、お歯黒になりながら一皿を シーの運転手から聞いていたの ほか、イカ墨がおいしいとタク ーのつくのを全部頼んだ。その があり、メニューのチャンプル さまざまな種類のチャンプルー ヤチャンプルーが思い浮かぶが プルーといえばニガウリのゴー るのも忘れて頬張った。チャン しても興味を引くものが私たち 元。見学・試飲を終えて出てき に出かけた。まずは泡盛の酒造 レンタカーを借りて石垣島観光 い食事とお酒をちょこっといた き、すっかり泡盛の虜になって しまって私。こうして、おいし (一升瓶七千円也!)をいただ 次の日、飛行機は三時なので、 腹ペこでおりてきた私たちは 玖珠農業高校

のか・・・・ 当りにした重廣さんは、穏やか 誰の心にも眠る変身願望を目の は嫌な顔一つせず見守っていた。 物色するオバさん達を重廣さん てしまった。あさましく着物を の微笑みの中で何を考えていた 鮮やかな黄色の紅型に飛びつい

来たのか・・・一泊二日の石垣 見たようなはかない短い旅だっ へと向かった。南の島で夢でも 空港で分かれ、重廣さんは対馬 の旅は終わりに近づいた。福岡 山を登りに来たのか、観光に

九重連山は除く)

児玉

章 良

二月頃から始めた。 イド」らしきものを作ろうと十 玖珠・九重の山を全部登り「ガ てきたため、玖珠にいた記念に 玖珠の地から離れる予定が出

物を着て「ハイチーズ」眼にも 手探りで帰るはめになったとい たまたま闇夜で月あかりがなく、 たときなどは、懐中電灯を忘れ、 とが多かった。カルト山に登っ 頂に着いた時は真っ暗であるこ 午後五:○○から登ったので山 ほとんどが勤務時間を終え、

> とだ。 半減してしまっているというこ 林道が作られ、登山の楽しみが はほとんどの山は山頂近くまで くもあった。ただ、残念なこと 草木が枯れているので歩きやす 苦労はしなかった。また、冬で り恐ろしい経験もした。 に一、二度登っていたのでそう しかし、かなりの山は数年前

ながら苦労して登り、 きは、風倒木とブッシュと戦い 行で、五年くらい前に登ったと まで作業道ができ、RV車なら ると、びっくり、北側から山頂 えるようになっている。 れ、三六○度のパノラマが味わ 山頂まで登れるようになってお 景色が拝めなかった。しかし、 「宝山」などはこの会の月例山 「大分百山」の調査で登ってみ 山頂付近はきれいに整備さ 山頂では

見た目は良い。しかし登山者は る山で、大きなテーブルの形を ているし、回りは岩に囲まれて 三年設置四等三角点)に出てき た登山道はない。実際、三角点 している。典型的なメサである。 と「宝山」と「横山」の間にあ 祖山」。この山は玖珠から見る の標記も最近の地図、 皆無なのであろう、これといっ な林道があった。がっかりした。 かき分けて登ってみると、立派 山道もなく、急斜面をカヤをを 逆に是非お勧めするのが「大 また、城山はこれといった登 しかも山頂は荒れ (昭和六

ていて、景色は楽しめない。 (小倉岳より前万年と本万年

る。両方とも最近設置された新 ○分暗いの急登で、山頂に立て である。いずれにしろ⑤⑥は三 ⑥は瓜二つの山である。ちなみ 横山の前にある⑥「不明?(八 青野山の前にある⑤「丸岳」、 岳」と紹介していたが、間違い かくれた名山たち」の執筆者は に大分合同新聞連載の「大分の 六九,七m)」の山。特に⑤と 六つある。①「小倉岳」、② から見ると三角形に見える山が ○分ぐらいで山頂に立てる。 で、これを利用すると急登で三 だ、最近麓まで林道ができたの 「ごしが岳」、④「河上岳」、 「涌蓋山」、宝山の前にある③ 「横山」の記事の中で⑥を「丸 もう一つは「丸岳」。玖珠町

> 以上、登った結果は全て「玖 Ш 頂

珠農業高校研究紀要」に載せて

さい。差し上げます。 いるので、欲しい方はご連絡下 ちなみに、以下の山(低い

の山、 山、涌蓋山。プラス天瀬町(上 万年山、合鴫山、福万山、崩平 岳、カルト山、横山、野稲岳、 吉武山、日平山、平家山、鹿伏 生) 大祖山、鈴ケ塚山、人見岳 岳、小倉岳、宝山、青野山、? 順)です。角埋山、天道山、 山(八六九,七田) 黒岳(日出 扇山、城山、小岩扇山、月出山 岳、鏡山、伐株山、丸岳、大岩 ノ台、河上岳、高波山、ごしが 玖珠・九重の山に詳しい方 湯ノ見岳、亀石山)

を調査します。 宇佐」の山、後半「日田」の山 くなったので調査に行きます。 本年度は、前半「院内、安心院 たら紹介して下さい。転勤はな で、標記いがいの山を知ってい

孝 子

二月二十五日 (金) 大分発八

なのに、初めて行ってお会いで 通で用をすましてきた二十年間 社長が帰国していた。電話か文 ヤ観光に健康診断の用紙をもら はフリータイム。新橋のヒマラ 時二十五分、羽田着十時、本日 きたことが不思議である。 いに行く。ネパールより宮原独

行くと社員は、あわただしく用 意をしていた。 て帰る。今から静岡へ説明会に ションで登れる山の話を聞い 十一月のトレッキングパーミ

道橋東京グリーンホテルにて支二月二十六日十三時より、水 い。魅力ある会にしたい。若者 より「多くの支部会員と話した 部事務局担当者会議。大塚会長 画見。これまた六十五歳以上は て夕方長男の所へ行く。 へは入れないため、有楽町で映 夜にならないと長男穂高の所 ,○○○円である。洋画を見

を増やしたい。土台固めをした

い…。」等々、三十分間の挨拶

の報告も。どこの支部も同じだ のではないかなどの意見。会員 参加者の中から若者が入会する 事をする事などで活性化になり、 地方・市町村と共催の山開き行 り活動発表あり。月一回登山や、 換会。岐阜、山陰、宮崎支部よ 化を考える。」について意見交 2行事にまったく参加しないと 第一日は、テーマ「支部活性

> ずむ。二十時、ホテルへ。希望 者は二次会へと流れる。 から子供、孫のことまで話がは どの会員も顔見知りな為、山行 員で三十名程度で、家庭的で、 費八千円。二十四支部と本部役 菜や」で親睦会が開かれる。

して十時から再開。 谷の山岳会ルームに会場を移第二日(二月二十七日)は市

始する。)本部ホームページア め、小委員会をおいて検討を開 のホームページを充実させるた 日は休館日。 ⑧インターネット りを。⑤会員の死亡には弔電を 名、募金目標三〇〇万円、一口 し出て欲しい。⑦図書室は月曜 録商標なので使用する場合は申 ACのマークは正しい物を。登 打つので、本部に連絡を。⑥J 一万円の協力を。④会報にたよ ルバータ合同登山(カナダ)七 念登山賞の推薦について。③ア 名会費未納あり。②秩父の宮記 ドレスhttp://www.jac.or.jp/ 本部より、①会員五、九八二

らせ。日程は九月十六日、十七 を準備して五月の総会で各支部 日を予定。計画の詳細は資料等 会について東九州支部よりお知 山研利用を。 平成十二年度全国支部懇談

ームページ作成。) ⑨上高地の

(東海支部は支部委員会でホ

0 十二時昼食。十三時解散。 各支部よりの要望等。 別府、久住山の宣食。十三時解散。あ

阿蘇根子岳方面に「影祖母」が

出現。まさに自然の芸術であっ

ら下っていく。

大木が倒れたと

十七時三十分より近くの

である。 たことはない。晴天を祈るのみ だが、今まで雨で行事を中止 伝をした。台風の事だけが心配

袓 田ら その П

平成十一年十月二十四日 ~二十六日

しむ。太陽が完全に姿を現すと、とともにしばし頂上で景色を楽 なかった。一緒に泊まった二人 気温は一℃だが風は弱く、寒く る。そして六時二三分に御来光 住、大船、黒岳、由布岳、北西 天狗岩と連なる縦走路、北は久 笠松、本谷、古祖母、障子岳、 下界と山並みを隔て、東から傾、 高度一〇〇〇mくらいの雲海が、 到着。三六〇度のパノラマは、 十五分ほどで夜明け前の頂上に をとって五時四十五分に出発。 前三時に出発したという韋駄天 には阿蘇、根子岳が突き出てい の強者だった。空は晴天。軽食 見知らぬ人がひとり。北谷を午 天気を見ようと土間におりると 五時起床。荷物をまとめて、 十月二十五日 (月)

鹿児島さんは五ヶ所へ下ると

5分、古祖母山頂 (一六三三 キゲンなコースが続き、9時4 た。今度加藤さんに言っておこ 逆に行くと見落としがちになっ 板が全て尾平方面向きであり、 各展望台への分岐点にある案内れないのが残念だった。それと、 すばらしかったが、紅葉が見ら 望台からの障子岩尾根の眺望は障子岳 (一七〇三m) や第三展 ら進む。特に、九時に通過した る黒金尾根コースを左に見なが 天狗岩の分かれでは、尾平へ下 に途中の展望台に寄り道した。 ングしながら散歩する犬のよう こちらは初めてなので、マーキ 寄り道をせずに進んでいくが、 ゲンな展望コースだった。モッ こから古祖母まではルートがよ いうことで別れ、モックン似 クンは昨日堪能しているので、 子を下りて天狗岩を目指す。こ る。急な岩場の下りが続き、 長崎氏とともに七時に頂上を下 整備された稜線歩きで、ゴキ 気分はfeel so nice! ゴ

グループ一〇名御一行様が到着 さらに尾平から、高年仲良登山 で、風も弱く絶好の休憩地であ 一望できた。南向きの日だまり 岩戸などの集落や彼方の山群を おり、眼下には宮崎の土呂久、 と、モックンが追いついてきた。 る。ザックを下ろし一息つく 古祖母は南側の展望が開けて

> 間を稼ごうと急ぐことにした。 険だ。でも傾まで登らないと縦 っていた。暗い、寒い、ひもじ ないのかと無謀な考えをし、時 傾に登って下山してしまうしか 走にならない。やはり今日中に い時に、幽霊に出られるのは危 もないらしく、食糧も少なくな と聞いたのを思い出した。電気 越小屋に泊まり、明日傾に登っ 路下る。当初の予定では、九折 て下山する予定だったが、夕べ へと取りついた。 一一:〇〇尾平越通過。本谷山 し、賑やかになっ 「九折越小屋には幽霊が出る」 一〇時に出発。尾平越

分もオーバーして一三時一〇分ない。結局コースタイムを二〇 界に入るピークは近づいてくれ ったが、歩き始めて五時間、昨本谷山は長く緩やかな登りだ て、小さい起伏を繰り返しなが うなので食べた。 のだが、匂ってみたら大丈夫そ 作る。おにぎりは昨日の朝のも ょっとした広場である。コンロ ケと雑木に囲まれていたが、ち った。 頂上は、周囲をスズタ 行程再検討を迫られることとな 着いた。このペースダウンで、 に本谷山頂上 (一六四三m) に ケのなかを獣が走り回っていた。 ワと襲ってきた。途中でスズタ 日の分もまとめて疲労がジワジ に火をつけ、ラーメンスープを イノシシだろうか。しばしば視 笠松へ向け

m)に到着した。

ころもあるが、コースは本当に ○分で笠松山頂下に着いた。頂 ○分で笠松山頂下に着いた。頂 ○分で笠松山頂下に着いた。頂 ・れば天国だ。上りになって二 が。「ビール飲みてえ」と思っ が。「ビール飲みてえ」と思っ た瞬間、笠松に登り始めた。 た瞬間、笠松に登り始めた。 たいる。決断の時が来た。笠松 られる。決断の時が来た。笠松 られる。決断の時が来た。笠松 られる。決断の時が来た。笠松 といって順をあきらめるか、 を松山をやめて一泊し傾に登る たいる。では、コースは本当に といってにこれて、 にいる。といってに といってに といって といってに といって といって

を繰り返しながら下り、松、ナを繰り返しながら下り、松、ナなり、九折越に向けて下った。 ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走ただ、傾に登らなければ、縦走たが、カ折越に向けて下った。 なり、九折越に向けて下った。 スズタケ、雑木の間を、起伏なり、九折越に向けて下った。

小量は電気がないので、とりを汲み、小屋へと向かった。戻り、見立に七分ほど下って水戸することにした。九折越まで

る音が一晩中聞こえていた。 き声と、露が屋根の庇から落ち 幽霊が出ませんように。鹿の鳴 割りを飲むとあったまり、小屋 湯を沸かしてウィスキーのお湯 じたので食べなかった。最後に くわなどの残り物を食べたが、 聞きながらラーメンを作り、ち 真っ暗になっていた。ラジオを るようになったときには辺りが 煙と格闘のあげく、夕食がとれ あえず薪を集めて火をおこし、 の換気、戸締まりをして就寝。 で自慢の鼻が利かず、危険を感 一つ残っていたおにぎりは、煙 小屋は電気がないので、とり

十月二十六日(火)

щ

五時起床。まだ真っ暗のなか、五時起床。まだ真っ暗のなか、ったらしい。下山のときに探りる。一人だけだと夜逃げのようる。一人だけだと夜逃げのようで、ついしのび歩きで外に出る。与としたところ、地図がない。うろついている間に落としてしまったらしい。下山のときに探すことにして、傾山頂へと向かすことにして、傾山頂へと向かった。

だった小屋なので、一応中を覗

折越小屋に着いた。泊まるはずラ林の丘を越えて、一六時に九

えないので、曇りかガスが出てルートは分かりやすい。星は見おり、足元も滑りやすかったが、スズタケの葉が露でしめって

予定どおり下山できたことに感

また人の少ない原生林を満喫し

テク歩いて、一二時五分に上畑

この三日間天気に恵まれ

か分からないが、やはりもう一

むこと三分、何をどう考えた

下りること五分、石の上にしゃ

直進が傾、右は見立(水場)、

五○m下ると、九折越の分かれており、きれいだった。さらにいてみると、意外としっかりし

名残惜しいが、左へ曲がって九

へと下り始めた。急な下りを

思い残すことなく下山開始。途 視界はゼロ。巨大な柱状岩が立 明るくなってきた。案の定ガス 分を通過、地図を探し出して下 めて下山再開。九時五分九折越 えたので、ガスの晴れるシャッ 中で祖母が一瞬ガスの隙間に見 傾の縦走を確認した。今度こそ ち並ぶなか、三角点を触り祖母 山頂(一六〇二m)着。ガスで 七時に南峰通過、七時十分に傾 体力も回復、順調に登っていき、 の心配はなさそうだ。一泊して っているが、時折日も覗き、雨 いるようだ。六時を過ぎると、 ついにその機会はなく、あきら ターチャンスを待つこと四五分

五五年頃か。結局民宿が一軒あ ーが貼ってあった。推定、昭和 ら覗くと薬師丸ひろ子のポスタ あったらしき廃屋があり、道か かつて鉱山職員用のアパートで 大きな水槽や事務所があり、上 れ、U字溝が続く道を下ると、 跡近くに出た。バラスで整備さ 時間、一一時一五分に豊栄鉱山 に入り、 らうことはできなかった。テク っただけで、車はおろか人っこ 畑に続く舗装道路に出た。途中、 林道へ出て小休止。再び登山道 一人会わず、軽トラに乗せても 下ること一時間。一〇時頃、 沢づたいに歩くこと一

群でした。かし、噂に違わぬすばらしい山かと、噂に違わぬすばらしい山

秋の無名山ガイドブック②

飯田勝之

としよう。

フェンス外を通るようになり、 道は県道の吹き付け斜面の上の 照葉樹の二次林の中を進むと、 照葉樹の二次林の中を進むと、 がある。 がははっきりとそれとわかる。

し 竹林になっている。 の伐採地となり、伐採地の上はにつ フェンスが終わると右上はスギ

(大塚地の中を登り、右手上に見える稜線を左上に向かって直見える稜線を左上に向かって直見える稜線を左上に向かって直をで、進むと数十メートル先が峠でたであろう峠にはモウソウ竹がたであろう峠にはモウソウ竹ががに地蔵尊を祀った小さな石の隅に地蔵尊を祀った小さな石のはがある。しばし往事をしのんだら、峠から右手稜線へ踏み込だら、峠から右手稜線へ踏み込むと良い。

はからは、真玉町の三畑へ下る道のほかにほぼ水平に古い作る道のほかにほぼ水平に古い作業道が右手に伸びているが、その道をとらずに稜線に沿うように藪をこぎ分けた方が良い。入り口は手こずるが踏み込めば稜線は歩きやすい。

気分の味わえる道である。
・分ほど登ると右の伐採地上中分ほど登ると右の伐採地上中分ほど登ると右の伐採地上中分にといる。
・一次林の中で、かなりはっきた二次林の中で、かなりはっきた二次林の中で、かなりはっきた二次林の中で、かなりはっきた二次林の中で、かなりはっきた二次林の中で、かなりはいまり、野はど登ると右の伐採地上十分ほど登ると右の伐採地上

だごから。
れている。ここは東西国東の郡線道には所々に境界線杭が打た緩いアップダウンの快適な稜

つかまって登るような所などが岩の根本をまき、木の枝や岩に少しづつ高度を上げ、大きな

快適な稜線歩きが続く。 有るが、ほとんどは樹林の中の

始めは造林地内が良いが、半分 方の歩きやすいところを登る。 被いかぶさるように高く感じる 伊美山であろうと思われるが、 深いヒノキの谷へと続く。 し行くと前面が突然切れ落ち、 た後再び登りとなる。樹林の中 より上は自然林の中の方が歩き の中と、左の自然林の中との両 そこからは右のヒノキの造林地 る。下りきると再び急な登りで 西に折れており、急な下りであ い頂が望まれる。そこがめざす 二のピークに着き、そこから少 の踏み跡を登っていくと再び第 少し東に曲がり、緩やかに下っ 切れ落ちた谷の向こうには高 稜線はピークからほぼ直角に 一つのピークを越すと稜線は

となっており、地図に有る伊美 西に長い小ピークで、もちろん の中木にびっしりと被われた東 アセビ、カエデ、シロモジなど 下ると再び登りとなる。 う稜線は両方が自然林で、 山の頂上は西に有る。西に向か 上で、ちょうどTの字状の分岐 詰めたところは東西に長い稜線 方面の視界が開けてくる。上り 頂上といってもそこはリョウブ、 ていくと数分で伊美山の頂上だ。 いくと、背後に文殊山や両子山 頂を示す何物もない。樹間に かすかな踏み跡を頼りに登っ 急坂をゆっくり高度を上げて

> 山が木々の梢越しに見える。 と、その右に尻付山、ハジカミ ンテナの立っている丸いピーク ており、そこから西方に有るア ピークの西の端が岩峯状になっ とは展望もまったくきかない。 は北の黒木山が見える程度であ

> > どその境目に三角点は有る。

も見えないが、南側は千灯岳

北側はブッシュに遮られて何

側は低木の天然林、南側は真新

三等三角点の有る頂上は、

しいヒノキの造林地で、ちょう

林地でないと歩けない。背の低 林である。どちらを行っても良 今度はは急な登りで、 直進する。そこから一旦下ると 字状の分岐まで戻るとそのまま グングン登っていくと視界もど いヒノキの明るい造林地の中を 歩きやすい。とくに上の方は造 いが、造林地の中を歩いた方が キの真新しい造林地、左は自然 んどん開けてくる。そしてやが 頂上から稜線を引返し、Tの 右がヒノ がいない。 遮られて何も見えなくなるにち とすばらしい大パノラマだ。し ら文殊山、両子山そして屋山へ かしそれもあと数年でヒノキに すばらしい展望を楽しんだら

かずの自然林はもうどこもわず 付近まで造林されており、手つ コースタイム になる。国東の山はどこも山頂 来た道をそのまま引き返すこと

丁分岐→ (一五分) 分) ↑ (一五分) T分岐→ (二 地蔵峠登山口→(三○分)↑ 分) ~三角点山頂 〇分) ↑ (一五分) 伊美山 (二五分) 直角ピーク→ (二〇 1 0

て頂上に着く。

スを歩きたければ… 人の少ない北アルプ

あずさ

ていることと思います。北アル そろそろ夏山のプランを考え

(伊美山から両子山、文殊山)

違うのが二~三パーティーとい のコースをご紹介しましょう。 プスに行きたいけれど、人の多 八月にもかかわらず一日にすれ いところは嫌という方にお薦め

です。蓮華岳・不動岳・南沢岳と が針の木から烏帽子岳のルート コマクサ街道と名づけたくなる で、後立と裏銀をつなぐコース まで八泊九日の縦走をしてきま コースをご紹介しましょう。 した。その中でも人の少ないの 昨年八月、白馬岳から笠が岳

見ることができるゆったりとし とどっしりと大きく構えるのが の山々、南には小さく槍ヶ岳も 頂上からは北に白馬を始め後立 尽くすような迫力で咲いている。 ザラザラと乾いたルートにはコ 蓮華岳で、急登が緩やかになり マクサのピンクの花が山を覆い 針の木小屋の前を東に抜ける

にと願いながら下った。 さが印象的だった。どうか踏ま れたり取られたりしませんよう だ小さな株で透き通るような白 マクサを二株見つけた。まだま ジグザグに下る。ここで白いコ 直角に曲がり、コマクサの中を ピークからは北葛岳に南へと

ので、ありがたい。

ヶ所か岩稜が出てくるがたいし 一気に下る。北葛岳の登りは何 梯子と鎖場の道に変貌し、この 華の大下り」と呼ばれる岩稜と コース一番の難所で北葛乗越へ コマクサの道が一転して「蓮

樹林の中を下ると尾根はだんだ

ところにある水場なので、注意 が有る。ロープを頼りに足場の どの広さ。5分ほど下ると水場 は七倉岳に戻る途中に左へ分岐 ミのてんぷらの揚げたてを出し 使い、小屋の周りでつんだアザ は、七倉沢側が切れ落ちて、や るのがよくわかる。七倉岳まで が必要。水場の少ないルートな 悪いところを下る。切れ落ちた 長い梯子を下りた左に十張りほ し、船窪岳に向かう途中にある。8 烏帽子岳がよく見える。テン場 動沢をはさみ、不動岳、南沢岳、 マクサがたくさん咲いている。 のおいしさ。小屋の周りにもコ てくれる。お米も言うことナシ 屋は小さいながら陶器の食器を 船窪岳への分岐がある。船窪小 小屋は近い。船窪小屋とテン場 子もある。細長い山頂から船窪 た蓮華の大下りが切り立ってい 広場の北葛岳に着く。降りてき たことなく、約一時間で小さな 小屋の前から白くえぐられた不 せ尾根になっているところや梯

を下ると船窪乗越で、針の木谷 ヶ所かロープを頼りに細い尾根 側にルートをつけているが、何 着くが、樹林中で展望は無い。 プをたよりに幾つかの小さなピ からの分岐となる。梯子やロー なり崩れているので、針の木谷 樹林の中を下る。不動沢側がか ークを過ぎ、船窪岳のピークに 船窪岳へはテン場の横を通り、

ら歩く必要がある。 壊が激しくなるので注意しなが 動岳が近くなると特に稜線の崩 ほとんどは樹林やハイマツの中 なもろいところが何カ所もある。 元からザラザラ崩れていくよう にルーとが作られているが、不 ん狭くなり、左の不動沢側は足

も手伝って、コマクサの楽園の クサが咲き乱れ、人の少ないの こだが、コマクサの群生地のた ような山。 に足の踏み場の無いほどのコマ れないようになっている。まさ めロープが張られ、山頂には入 い上部に出る。山頂は南の端っ 登りつくと不動岳の南北に長

その美しさは雲ノ平より勝ると 高山植物に彩られ、池が点在し 岳までは花崗岩の砂礫の白さと 彿とさせる。南沢岳から烏帽子 岳の黒い岩峰が名前の由来を彷 はかなり広く、目の前に烏帽子 高原状の中を快適に歩く。山頂 傾斜が緩やかになるとのどかな 岳が見えるが案外早く登れる。 コマクサをはじめとする数々の 南沢乗越。目の前に大きく南沢 涸れ沢を下りついたところが

> スの始まりを知らされることと 突然人が多くなり、裏銀座コー

ら標高差千メートルのブナ立尾 行もここで終わる。 座コース。今まで静かだった山 び、槍ヶ岳に続くルートが裏銀 根を北アルプスの三大急登と呼 ン場になっている。高瀬ダムか い。小屋を越えて池の周りがテ 樹林に入ると烏帽子小屋は近

楽しまれることをお祈りします。 夏、あなたが思いで多い山行を ていただければ幸いです。この 計画に、頭の隅っこにでも止め コマクサの大群落は、後立や燕 の少なさにびっくりするととも、 ませんが、北アルプスの中で唯 岳と肩を並べる迫力です。夏の 一静かに歩けるルートです。人 この山域は、人気の山はあり

コースタイム

六月月例山行の

(支部創立四0周年

記念山行

成・発送から始まり、予約受

案内状やパンフレットの作

二〇〇人分の名札等々事前準 付、宿泊の数の確定、弁当

岳(一時間三十分)烏帽子岳 三十分) 不動岳 (一時間) 南沢 船窪小屋(一時間)船窪乗越 時間) 北葛岳 (一時間五十分) 針の木小屋 (一時間) 蓮華岳 (一時間十分) 船窪岳 (二時間 (一時間三十分) 北葛乗越(一

も劣らないだろう。時間が許せ

日時…六月四日(日 目的…涌蓋山

参加方法…漏蓋越に午前九時

烏帽子岳の岩峰への分岐に荷

のんびりしたいところだ。



ます。なお、都合により地蔵

し、山頂で記念撮影等を行い に全員集合のうえ山頂を目指

よっとした岩登りの楽しさを味 よう。頂上への最後の登りはち 物を置いて、頂上をピストンし

登りやすい。ここまで来ると、 けられているので、見た目より わせてくれる。ロープが取りつ

さん全員の参加をお待ちし 厳守してください。会員の皆 午前一〇時までに山頂到着を 原方面等から登られる場合は

のもとにはぼちぼち原稿が寄

四〇周年記念誌発行担当者

とがあるようです。

その他まだまだいろいろなこ バス・車の配車、医療・救護 進行、山行の手はず・ガイド 備や当日の受付、案内、会の

◎役員会からお願い お 知 5 廿

・大分市方面からの参加者は午

前六時サニー集合の上出発と

際にドッとおし寄せはしない

かと心配しています。

今年度も会報の年四回発行

(四月、七月、十月、

足が緩いようで、

締め切り間

り始めたようですが、まだで

します。

ています。

会金が免除されます。 い。二五歳以下の新入会員は入 い山仲間の入会を誘ってくださ ました。会員百名を目指し新し 会員の拡大を目指すことになり 支部結成四〇周年記念を前に

五月月例山行の

目的…稲尾岳 (鹿児島)

日時…五月一四日(日) 一三日午後七時サニー出発予

(相談の上時刻変更しま

三食分の弁当と野営の準備を してください。

四〇周年記念事業準備

六月一三日 五月 九日 午後七時より 午後七時より

各地の会員の活動報告をお願

外の寄稿が少ないようです。 す。特に大分市近郊在住者以 月)を実行する事にしていま

いします。

七月 四日 午後七時より コンパルホール

八月 八日 午後七時より コンパルホール コンパルホール

など当面の予定

コンパルホール

準備会の開催

います。 K I

員の皆様の投稿をお待ちして 次回の発行は七月です。 会

日本山岳会東九州支部報

けて準備本格スタートです。 よ九月の全国支部懇談会へ向

定期総会が終わるといよ

00年 (平成12年) 20 4月25日 梅 木 秀 徳 飯 田 勝 之 〒870-0021 大分市府内町1-3-16 サニースポーツ内 西 孝子 TEL・FAX 097-532-0926 発行者 編集者 発行所

佐藤正 題字